

平成17年度 高冷地水稻生育速報(第7報)

中山間農業技術研究所

1. 生育概況(7月19日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	66.5 (95%)	566 (111%)	3.8 (-0.9)	33.2 (-2.6)	11.3 (+0.6)
	前年	76.4	532	5.1	39.0	11.0
	平年	69.9	511	4.7	35.8	10.7
コシヒカリ	本年	75.0 (99%)	513 (96%)	4.0 (-0.4)	36.5 (+2.2)	10.9 (-0.0)
	前年	79.6	573	4.2	35.4	10.9
	平年	75.9	535	4.4	34.3	10.9
たかやまもち	本年	70.9 (99%)	442 (90%)	4.9 (-0.4)	39.5 (+1.0)	11.6 (+0.3)
	前年	-	-	5.2	40.3	11.3
	平年	71.9	489	5.3	38.5	11.3
ひだほまれ	本年	80.3 (105%)	473 (123%)	4.2 (-0.5)	35.2 (-0.6)	12.1 (+0.6)
	前年	78.4	402	4.4	34.3	11.5
	平年	76.4	384	4.7	35.9	11.5

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 平年値: 過去5年間の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 生育状況

気温はやや高めで推移し降水量も少なめとなっているが、あいかわらず日照は少ないままである。「コシヒカリ」でも茎数が前回調査時よりも減少しており、最高分けつ期は7月12日頃と推定される。葉色(葉色板)は、「たかやまもち」以外で値が低下してきている。いずれの品種でも平年値よりやや薄い状態が続いている。

2) 病虫害等の発生状況

セジロウンカ(夏ウンカ)の生息数が急激に増加しており注意が必要である。また、斑点米の原因となるカメムシ(シラホシカメムシ類)を本田で確認した。

「コシヒカリ」「ひとめぼれ」で葉いもちの発生を確認した。「コシヒカリ」については、モンガレ病の発生も確認している。

3) 今後の管理

葉色は低下しつつあるが、十分に低下していない所が見受けられる。「コシヒカリ」では、葉色板で3.5以下となるのを待って穂肥を施用したい。このとき穂肥量は、3割程度減を目安とする。

今後、暑い日が多くなると予想されるので、水管理に注意し出穂前後は田面が乾かないよう湛水状態とする。

各所で葉いもちの初発が確認されている。「コシヒカリ」「ひとめぼれ」などイモチ病に弱い品種や常発田では予防剤の散布をおこなわないこと。

<参考> 前回調査時(7月12日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	60.2 (97%)	575 (107%)	4.2 (-0.5)	34.4 (-3.2)	10.6 (+0.7)
	前年	63.8	532	4.7	35.4	10.1
	平年	62.4	538	4.7	37.6	9.9
コシヒカリ	本年	70.0 (105%)	533 (95%)	4.6 (-0.1)	39.0 (+3.0)	10.1 (-0.2)
	前年	69.2	591	4.9	36.8	10.2
	平年	66.9	561	4.7	36.0	10.3
たかやまもち	本年	65.0 (100%)	433 (83%)	4.7 (-0.3)	37.8 (+0.3)	10.4 (-0.1)
	前年	66.2	427	4.8	37.0	10.4
	平年	65.0	519	5.0	37.5	10.5
ひだほまれ	本年	73.8 (108%)	464 (109%)	4.3 (-0.2)	36.3 (+0.3)	11.1 (+0.4)
	前年	68.7	433	4.4	36.9	10.6
	平年	68.4	428	4.5	36.0	10.7

中山間農業技術研究所
TEL 0577-73-2029
FAX 0577-73-2751